

看護の未来を変える

～エコーを用いたアセスメント技術～

講師

小淵 岳恒 先生

福井大学医学部附属病院 救急部・総合診療部 講師



日時

2019年9月7日(土) 16:20～18:00

会場

第5会場 (AOSSA 6F 607)

～講師よりごあいさつ～

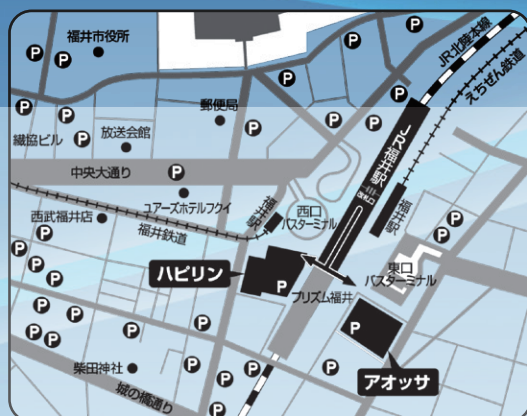
超音波検査（エコー検査）は医師や臨床検査・放射線技師さんだけが施行する検査ではありません。

もちろん看護師さん・准看護師さんも実施可能です。超音波は、「低侵襲で、ベッドサイドにて、繰り返し行うことができる」検査です、つまりエコーの機械さえあれば「いつでも、どこでも、誰でも」行うことが可能です。

看護師さんが患者さんのアセスメントを行う際には、問診、身体所見、バイタルサインを用いて評価を行います。エコーをベッドサイドにて行うことで、その結果が自分のアセスメントの補助的な役割を果たしてくれます。

いつ先生に報告すべきか？自分のアセスメントが正しいのか？今後どのようにケアを実践すべきか？そんなお悩みに対してエコーは助けてくれます。

今回は、「膀胱内容量の計測」、「下大静脈の計測と脱水の評価」を行います。当日どんな無茶ぶりにも答えますので、エコーに触れて、実際計測して、自分のさらなるレベルアップを目指してみませんか？



電車で

JR福井駅東口／えちぜん鉄道福井駅／福井鉄道福井駅より徒歩1分

車で

北陸自動車道福井I.C.より約15分



※本セッションは事前登録制です。参加お申込みはこちらから